

「ものづくり」九州」
-労働生産性向上と、そこで働く人の幸せ-

2013年:トヨタ自動車九州株式会社 宮田工場長へ就任

思い:全従業員がいつまでも元気でイキイキと働ける職場にしたい

会社に来て、疾病になるのは悲劇。そうならないような人づくり、職場づくりを推進したい。

①疾病予防

目的:業務上の疾病を「ゼロ」

2015年の約40工程のNG工程(エルゴ基準) ⇒ 2016年には「ゼロ」へ
(継続作業による負荷軽減のため、ローテーションの仕組み作りと物的対策を実施)

②高年齢化対応

目的:従業員が高年齢になっても元気で働ける

高年齢者がいつまでも元気で働ける工程づくりに着手(※特に筋骨格の負担軽減に重点的に対策)

- ・高年齢者に向けた新たな作業負荷基準の策定(従来のエルゴ基準の1/2~1/3の強度)
- ・工程改善(作業姿勢、重量物、吊り具、歩行)
- ・いつまでも生産ラインで働ける体づくり(疾病予防+身体づくりの要素から成る職場体操を開発)

③熱中症予防(暑熱環境対策)

目的:熱中症発症を「ゼロ」

各工程の実環境に合った温度基準を制定(従来は工場内、一律の基準)
個人要因(食生活、睡眠等)についても今後、対策検討

④メンタルヘルス不調者対応

目的:メンタルヘルス不調者の低減

皆がイキイキと働ける職場づくりに向け、下記「目指す姿」に向け2030年ロードマップ/アクションプランを策定

- ・人づくり: ストレスをためない個人
- ・職場づくり: チームの一員としてお互いに認め合う風土
- ・会社制度整備: 適正な評価

⑤生活習慣病予防(受動喫煙対策)

目的:喫煙者/非喫煙者もタバコが害から健康を守る

2014年に策定したロードマップに沿って、職場環境改善に着手

- ・屋内禁煙化(2014年)
- ・喫煙ルールの設定(就業時間中は喫煙不可)(2015年)
- ・敷地内禁煙(2020年予定)